



町内の小中学校で入学式 新たな学校生活がスタート

4月6日、町内の小学校7校と中学校5校で入学式が行われました。本年度の新1年生は小学校83人、中学校110人の計193人です。

城川内小学校では、15人の児童が入学。中野茂隆校長が「皆さんの入学を楽しみにしていました。早くお友だちと仲良くなり、楽しい学校生活を送って欲しいと思います」と式辞を述べました。

同校には、本年度から旧汐見小学校の子どもたちも通うことになり、本年度の全校児童は98人となっています。



↑名前を呼ばれ元気な声で返事をする児童

平成30年度転入学校職員宣誓式 新転入職員が意気込み

平成30年度転入学校職員宣誓式が4月10日、役場指江庁舎大ホールで開催されました。

本年度に転入された教職員は町内12校の小・中学校で28人。式では村田研史教育長が『子どもに恥じない自分であるかを常に考えること』、『組織としての学校を作ること』、『地域からの信頼がある学校を作ること』の3点を念頭に置いて頑張ってもらいたい」とあいさつしました。

転入者を代表して、平尾中学校の谷優一教諭が「教育を通じて、国民全体に奉仕する教育公務員の職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実かつ公正に職務を全うすることを固く誓います」と力強く宣誓しました。



↑今春赴任された教職員

交通安全アオサ作戦 安全運転の呼びかけ

阿久根地区交通安全協会長島東支部では、平成30年春の全国交通安全運動期間に事故の未然防止を図ろうと、4月6日、赤崎橋パーキングパークで、恒例の交通安全キャンペーン「アオサ作戦」を実施しました。

この作戦には、同支部役員のほか東町漁協、鹿兒島相互信用金庫の職員らも参加し、乾燥アオサを配りながら、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

阿久根警察署の入木田葉子交通課長は「キャンペーンを通じて、1件でも交通事故を減らせるように取り組んでいきたい」と話しました。



↑ドライバーにアオサを配り安全運転を呼びかけ